



ふるさと笠松の ちょっといい話

平成30年4月吉日

No.137

今年も桜がみごとに咲きました。

奈良津堤・笠松みなと公園



3月下旬から4月初めにかけて、奈良津堤や笠松みなと公園では桜の花が満開になり、見頃を迎えました。地面や芝の緑色、青空や川面との色合いがとても美しく感じました。

今年は、例年に比べて全国的に3月の気温が平年より高く、そのため桜の開花が進み、各地で平年よりもかなり早い開花や満開となっています。



そんな中、今年も奈良津堤において「笠松桜まつり」が開催されました。夜間にはライトアップもなされ、桜の花をより美しく観賞することができました。とくに、3月31日から4月1日には、桜の花びらがチラホラと舞う中、大勢の花見の人々で賑わいました。今では、奈良津堤の桜は、笠松の春の風物詩となっています。

また、笠松みなと公園の桜も、満開を迎えました。暖かく、外での活動がしやすい季節となり、日中には多くの人々が訪れ、公園での楽しいひとときを過ごす光景がたくさん見られました。



この時期、多くの人々が集う奈良津堤や笠松みなと公園ですが、いつまでもこの美しい光景が見られるようにしていきたいものです。

この一帯の桜の木の本数は多くはソメイヨシノという品種と思われ、この品種の寿命は60年程という説があります。しかし、実際には100年以上も元気に生きている木がたくさんあるということですので、今後の管理をしっかりとしていくことが大切になります。

取材を終えて

桜の見頃が終盤を迎えたある日、この一帯の様子を見ましたが、ゴミもなく、とてもきれいに整備されていました。こんな所に笠松の心が表れていると感じました。

発行：「道徳のまち笠松」事務局（笠松町教育文化課）

